

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°33 ドメーヌ・ド・ベル・ヴュー

生産地方：ロワール

新着ワイン2種類♪

AC ミュスカデ キュヴェ・グラニット 2014 (白)

2014年は、グラニットもセーヴル・エ・メーヌ同様に当たり年！ジェローム曰く、2014年のグラニットは例年よりもクオーツや火打石など鉱石の香りと味わいが全面に出ているとのこと！確かに、いつもよりもワインに勢いと締りがあり、塩辛いミネラルの風味が長く余韻に残る。ちなみに、デンマークのレストラン「Noma」もジェロームと取引があり、彼らはジェロームのワインの中でグラニットが一番のお気に入りなのだそうだ！

ペティアン・ナチュレル キュヴェ ミヤム・ミヤム 2013 (ロゼ)

シャンパーニュのエクストラ・ブリュットを意識した本格的なペティアン・ナチュレル！前回のリリースと同じワインだが、今回はさらに12ヶ月長く瓶内熟成させ、よりシャンパーニュに近いフィネスと細かい泡立ちを引き出すことにチャレンジした！前回の初リリースの時点ですでに泡の勢いや適度な清澄度合い、ペティアン・ナチュレルとしての完成度は十分高かったが、今回はそこにフィネスと繊細な泡立ち、複雑な味わいが加わり、さらにレベルアップしている！味わいの中にミュスカデ地方特有の潮のようなミネラルの風味もはっきりとあり、磯の香りが漂う魚介類との相性は抜群だ！

ミレジム情報 当主ジェローム・ブレトドーのコメント

2013年は、幸いにも霜や雹、ブドウの病気などの大きな被害がなく、収量平均は37 hL/haと、フランス全体が2年連続厳しいミレジムだった中では、大いに健闘した年だった！春のスタートは低温多湿で、寒さのため房になりかけたブドウが開花前に蔓になり、この時点で約2割ブドウが減ってしまった。だが、開花が始まった6月中旬から天気は一気に回復し、最終的に収穫終わりまで良い天候に恵まれた！収穫したブドウも見た目がきれいでどれも健全なものばかり取り入れることができた！ただ、最初のスタートで成長にブレーキがかかってしまったためなのか、例年よりもブドウの粒は小さく、糖度の上がり方も非常にゆっくりだった。9月上旬の時点でミュスカデの潜在アルコール度数が8度にも達しなかった時はかなり心配だったが、最終的に収穫時期を最大限に待ち12度前後まで持つて行くことができた！

2014年は、結果的に当たり年だった！スタートは順調で霜もなく、開花もうまく行ったのだが、6月の終わりから一転天候が崩れ、気温の上がらない雨がちな日が続いた。7月に入り天気が一瞬戻ってきたが、8月に入ってから再び雨の多い天候に悩まされた。通常は、8月にはヴェレゾンが始まり、畑の散布も終わりなのだが、2014年は8月から畑にミルデューが蔓延し始めたため、バカンス返上でボルドー液散布を行わなければならなかった。だが、9月に入り再び太陽が戻ってきて、気温も夏日のように上昇し、ブドウの成長の遅れも無事取り戻すことができ、結果しっかりと完熟したきれいなブドウを収穫することができた！

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

今年の1月の終わりに、モンペリエで開催されたシャソルネイヤルネモスなどヴァンナチュール生産者の大御所が集うワインサロン Les affranchis に初参加を果たしたり、2月初めにはアンジェの自然派ワインサロン La dive bouteille に参加したりと、年初から何かと忙しく動き回るジェローム！サロンに出ることによって彼の注目が集まるのは、長く応援をしてきた我々にとってもプラスでとても喜ばしいことだが、一方で、肝心

のワインが人気のため年々品薄になっていくのが悩ましいところだ…。

2015 年は、例年よりも豊作だったことから、彼は通常ワインのつなぎとして「ワンショット・グラニット」というミュスカデの新酒を 1500 本ほどリリースしたのだが、何とクリスマス前のものの 1 週間で完売！幸い通常のミュスカデなど前もって主要なワインの予約を予め済ませていたおかげで、どうにか今年もワインをある程度確保できそうだが、2015 年が豊作にもかかわらずサロン後にワインのオファーをしたクライアントはすでに数調整に入っているという状態のようだ。現在はデンマークやスウェーデン、フィンランドなどの北欧諸国、アメリカ、オーストラリア、カナダが彼に熱烈なラブコールを送ってきているようだ。中でも特に、卵型セメントタンクで仕込んだミュスカデ「ガイヤ」、アンフォラで仕込んだシャルドネ「ジュスティス」、樽熟のピノワールなどワンランク上のワインが彼らに大人気なのだそうだ！（このワインの確保が実に困難）

「私のワインはナチュラルでありながら洗練された味わいを目指しており、ビストロだけでなくガストロノミーにも受け入れてもらうことができている。今そのような味わいのワインをたまたま多くのお客さんが求めているのだと思う」と自らのワインの動きについて語ってくれた。確かに、今回のミュスカデ・グラニットにしてもペティアン・ナチュラルにしても、ものすごく完成度が高くきれいなワインだ！ナチュラルでこのパフォーマンスの高さ…人気が出ないわけがない！

今年、さらにミュスカデの畑を 1 ha 拡大し、さらなる進化を遂げるジェローム！今後の活躍に目が離せない！

(2015.11.18.のドメーヌ突撃訪問&2016.2.1.ワインサロン「ディーヴ」より)